



病院だよい

第75号

新城市民病院総務課
 新城市字北畑32-1
 Tel 0536-23-7852
 Fax 0536-22-2850

看護師復職支援研修

2月19日と20日の2日間で
 看護師復職支援研修を行いました。

現在、多くの医療機関が看護師確保を課題としています。この研修は、看護師の資格を有しながら出産や子育てなどで離職した後、ブランクへの不安から復職できないでいる、いわゆる「潜在看護師」の方で、新城以北での復職を考えている方を対象に、復職への不安を少しでも解消していただくために行っているもので、今回は6名の方に参加していただきました。

研修では、「最近の医療・看護の動向」や「医療事故防止、安全対策について」などの講義と、看護技術演習（バイタルサイン測定、採血、注射）、救命蘇生の練習などを行いました。



参加された方からは、「最初は緊張したが、働く前にこのような経験ができて良かった」「説明が理解しやすく、再確認にもなった」「今の看護の現場を理解することができた」「もっと早く参加すればよかった」などの感想をいただきました。

この研修を機に看護師として復職していただける事を願っています。



看護師さんのための 病院見学会

市民病院では、看護職の方を対象に病院見学会を開催しています。病棟や外来などの現場を見学できるほか、病院の概要から処遇まで詳しくご説明いたします。受付は随時行っておりますので、お気軽にお申し込みください。

〈日時〉

随時

開催時間 午前10時から12時まで

〈内容〉

- 新城市民病院の概要
- 業務内容の説明、院内見学の説明
- 給与、待遇、福利厚生などの説明



救急患者受入率について

平成24年中に救急車で搬送された患者の受入率についてお知らせします。

平成24年の1月から12月の1年間に、新城消防から市民病院に収容依頼があった患者について、下表のとおり受け入れることができました。

今後も救急患者受け入れの向上に努めてまいります。



収容依頼数	収容人数	受入率
1,241件	946件	76.2%

〈持ち物〉
 筆記用具
 ナースシューズ
 (もしくは白色の運動靴)

〈申込方法〉

当院ホームページより申込書をダウンロードしEメールにてお申し込みいただくか、申込書を印刷しFAXでお申し込みください。

FAX 22-2850

〈お問い合わせ〉

電話 22-2171 (代表)
 担当 看護職員課 伊東



ヒートショックに注意ください

立春を過ぎましたが、まだまだ寒い日が続きます。寒い日に温かい部屋から浴室やトイレ等の寒い場所に移動する時にはヒートショックに注意しましょう。

ヒートショックとは…

急激な温度変化が体に及ぼす影響の事で、室温（体温）の変化によって血圧が急変したり、脈拍が変動する事を言います。



この現象は、体温を一定に保つための体の反応ですが、この反応により、心筋梗塞や脳血管疾患、低血圧による入浴中の溺死などを引き起こす原因となり、特に高齢者は室温の急激な変化に体が対応しにくくなっているため注意が必要です。高血圧や糖尿病、動脈硬化症のある方も要注意です。

ヒートショックを防ぐには…

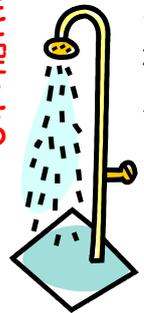
●浴室を温める

浴室暖房を設置する。設備がない場合は、シャワーの蒸気で浴室の温度を上げる事もできます。浴槽の蓋を開けておく事も効果的です。

また、床に「すのこ」や「バスマット」を置く事で温度差が改善されます。

●食事直後は入浴を控える

食事や飲酒の後は一時的に血圧が下がります。このような状態で入浴すると血圧の変動がさらに大きくなるため注意が必要です。食事後1時間以上経過してから入浴しましょう。



●お湯はぬるめにする

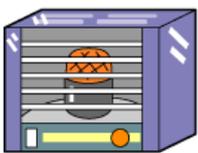
お風呂の湯温は38度から40度で長時間の入浴は避けましょう。湯船に入る前には十分にかけて湯をし、肩まで浸からず体への負担が少ない半身浴を心掛けましょう。



●居室温度を上げ過ぎない

また高齢者は、浴室が寒く、湯温の高い一番風呂は体に負担がかかりやすいので避けましょう。

室内と室外の温度差があるほど血圧変動が大きくなります。室内との温度差を少なくするため、室温を上げ過ぎないように気を付けましょう。



●トイレも注意

寒いトイレでいきむ事や、急に立ち上がる事も血圧や脈拍を急に変動させる事になります。トイレ内や便座を温かく保ち、日頃から食生活に気を付け便通をよくしておく事が大切です。



日本画を寄贈して いただきました

1月28日（月）、長篠の古谷怜一様より日本画1点が寄贈されました。
2階外来ラウンジに展示させていただきました。ありがとうございました。

タイトル「無心」

